

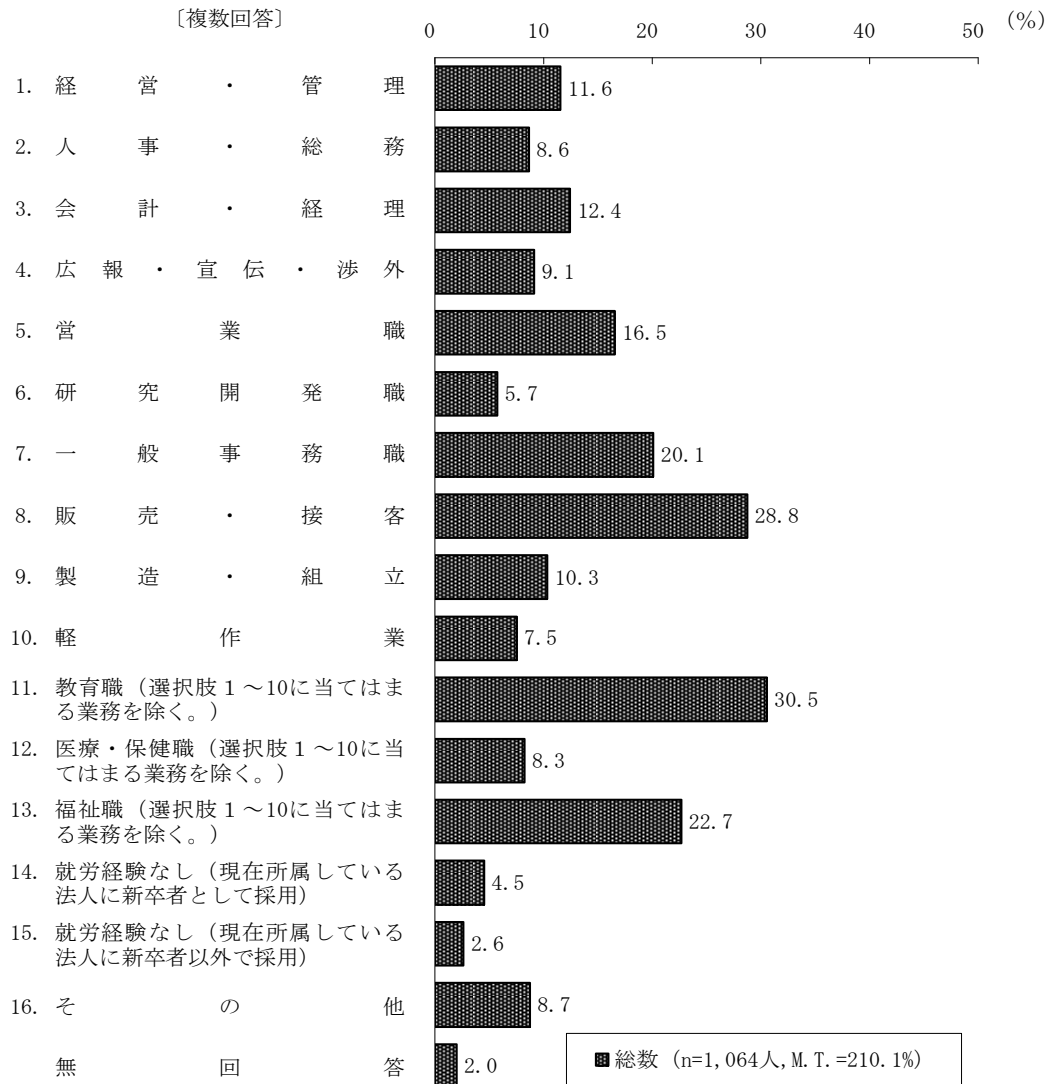
- 2 調査の結果（B調査）

- 2 調査の結果（B調査）

あなたに関すること

1 以前に就いたことのある仕事

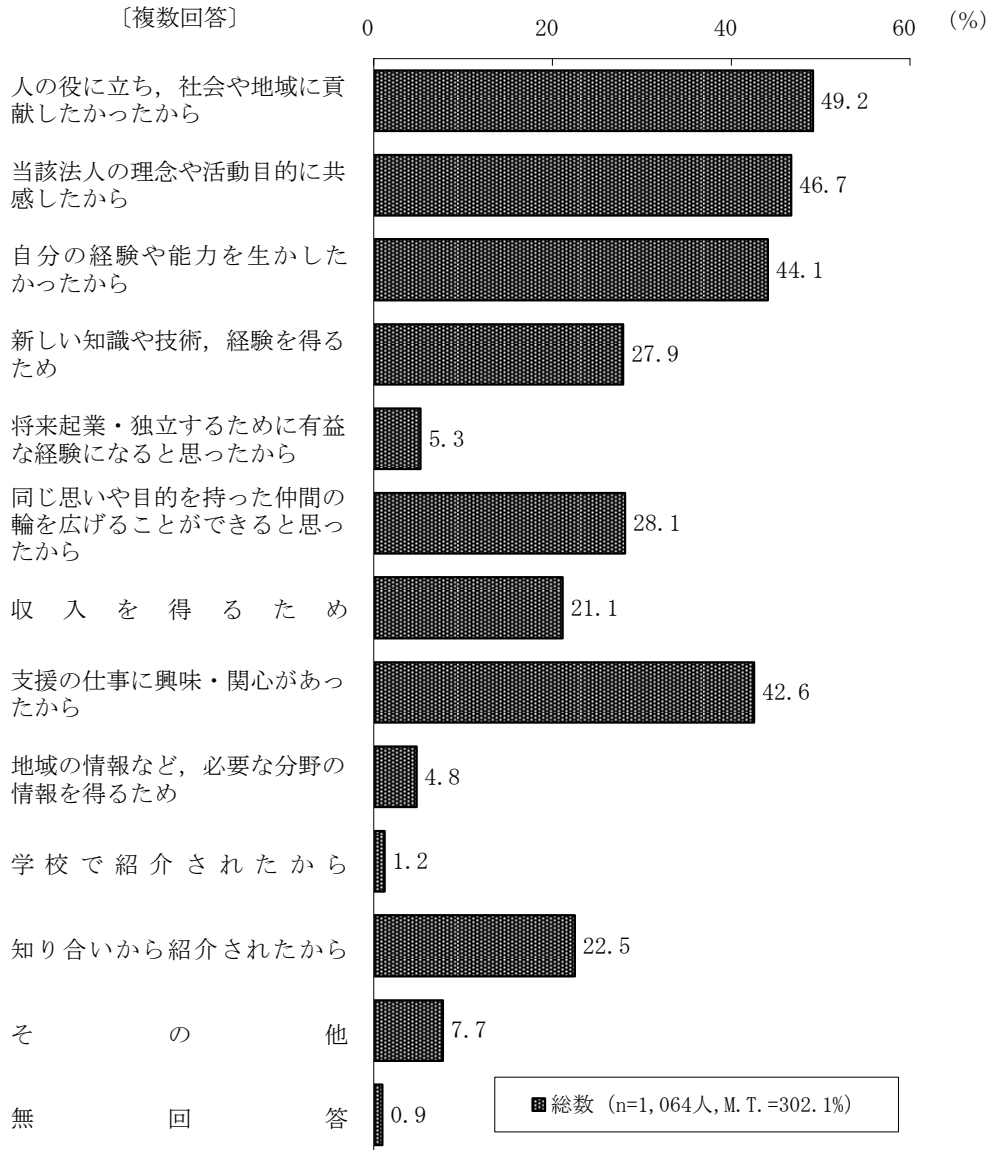
問1 あなたは、現在所属している法人の職員となる前にどのような仕事をしたことがありますか。次のうちから、当てはまるもの全てに を付けてください。なお、職種としては就いていないものの業務として行っていた場合にも、該当する選択肢に を付けてください。



以前に就いたことのある仕事について聞いたところ、「11 教育職（選択肢1～10に当てはまる業務を除く。）」が30.5%と最も多く、「8 販売・接客」が28.8%、「13 福祉職（選択肢1～10に当てはまる業務を除く。）」が22.7%、「7 一般事務職」が20.1%の順となっている。

2 現在所属する法人の職員となった動機

問2 あなたが、現在所属している法人の職員となった動機はどのようなものですか。次のうちから、当てはまるもの全てに を付けてください。



現在所属している法人の職員となった動機について聞いたところ、「人の役に立ち、社会や地域に貢献したかったから」が49.2%と最も多く、「当該法人の理念や活動目的に共感したから」が46.7%、「自分の経験や能力を生かしたかったから」が44.1%、「支援の仕事に興味・関心があったから」が42.6%の順となっている。

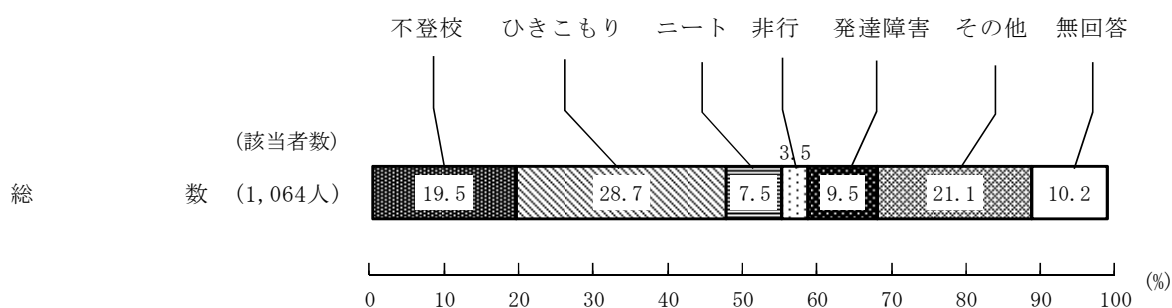
支援実践上の課題

3(1) 子ども・若者の状況(支援上で最も大変だったケース)

問3 困難を有する子ども・若者に対しての支援実践上の課題について、支援をする上で最も大変だったと感じたケース(支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。)を1つ思い浮かべた上で、次の(1)~(6)についてお答えください。

(1) その子ども・若者はどのような状況でしたか。次のうちから、当てはまるもの1つを付けてください。

なお、複数の状況に当てはまる場合は、それらの状況のうち支援対象者として初めてあなたの所属する法人に相談があった時点で、支援対象者又はその家族が最も解決したいと考えていた状況に を付けてください。



質問の選択肢は、「1.不登校」、「2.ひきこもり」、「3.ニート」、「4.非行」、「5.その他()」の5項目であったが、「5.その他()」を括弧内の記入内容によって、「発達障害」、「その他」の2つに分ける処理を行なった。

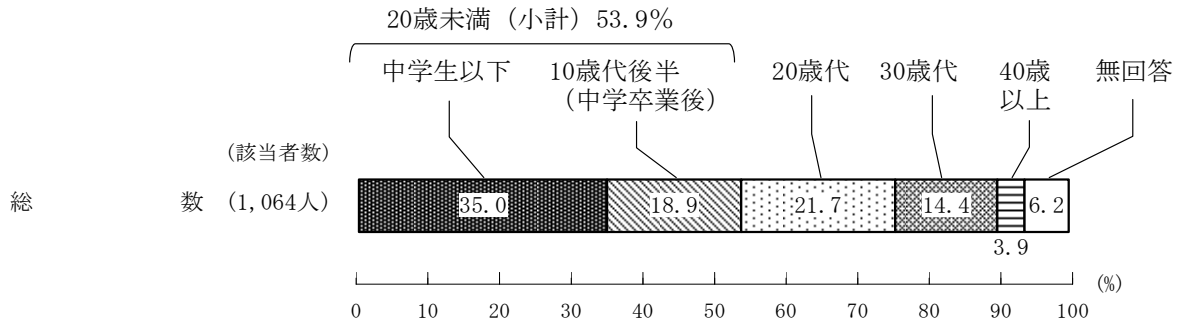
支援をする上で最も大変だったと感じたケースを1つ思い浮かべてもらい、その子ども・若者がどのような状況だったかについて聞いたところ、「ひきこもり」が28.7%、「不登校」が19.5%となっている。

ただし、1頁の「調査の概要」にて記載しているとおり、一定の単語が定款に含まれている特定非営利活動法人を調査対象法人に限定している点に留意が必要である。

3 (2) 支援開始時の子ども・若者の年代 (支援上で最も大変だったケース)

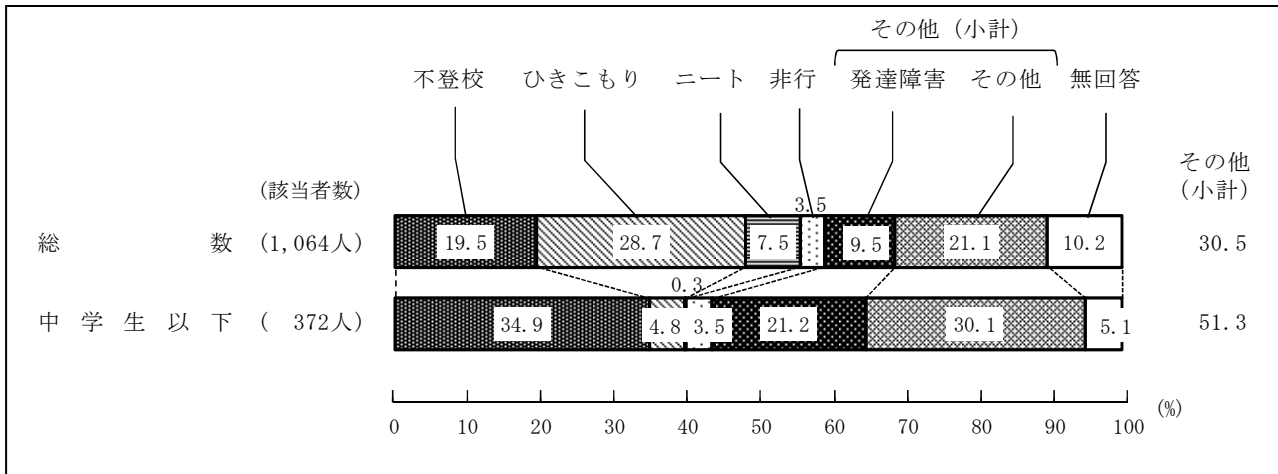
問3 困難を有する子ども・若者に対しての支援実践上の課題について、支援をする上で最も大変だったと感じたケース (支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。)を1つ思い浮かべた上で、次の(1)～(6)についてお答えください。

(2)(1)で選択した「困難を有する子ども・若者」を、あなたの所属する法人が支援を開始したときの支援対象者の年代はどれくらいでしたか。次のうちから、当てはまるもの1つに を付けてください。



支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」を、所属する法人が支援を開始した時の支援対象者の年代について聞いたところ、「中学生以下」が35.0%、「10歳代後半 (中学卒業後)」が18.9%となっており、『20歳未満 (「中学生以下」 + 「10歳代後半 (中学卒業後)」)』が5割以上 (53.9%) を占めている。

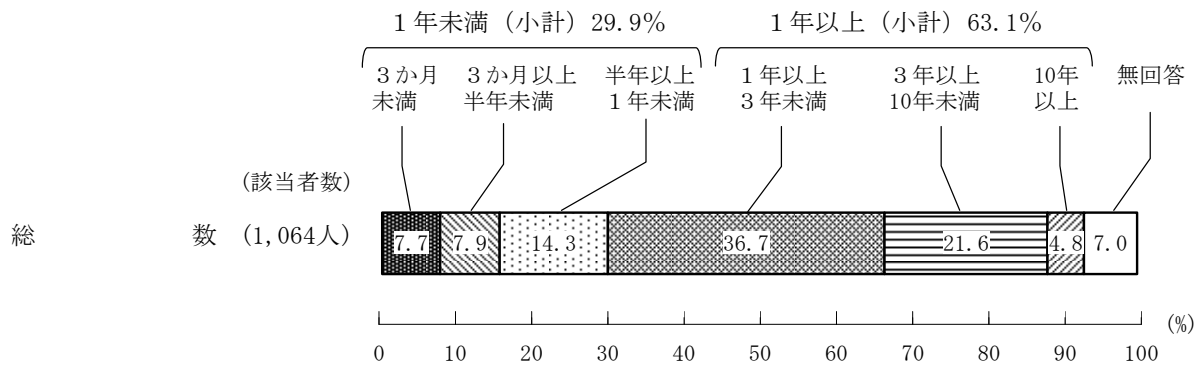
【参考】支援開始時の子ども・若者の年代 (問3 (2) 選択肢1「中学生以下」) 別に見た子ども・若者の状況 (問3 (1))



「中学生以下」から支援を開始した子ども・若者の状況を見ると、「不登校」(34.9%) が最も多くなっている。一方で、他の支援開始時期を含めた「総数」の中で最も多い「ひきこもり」は4.8%にとどまっている。

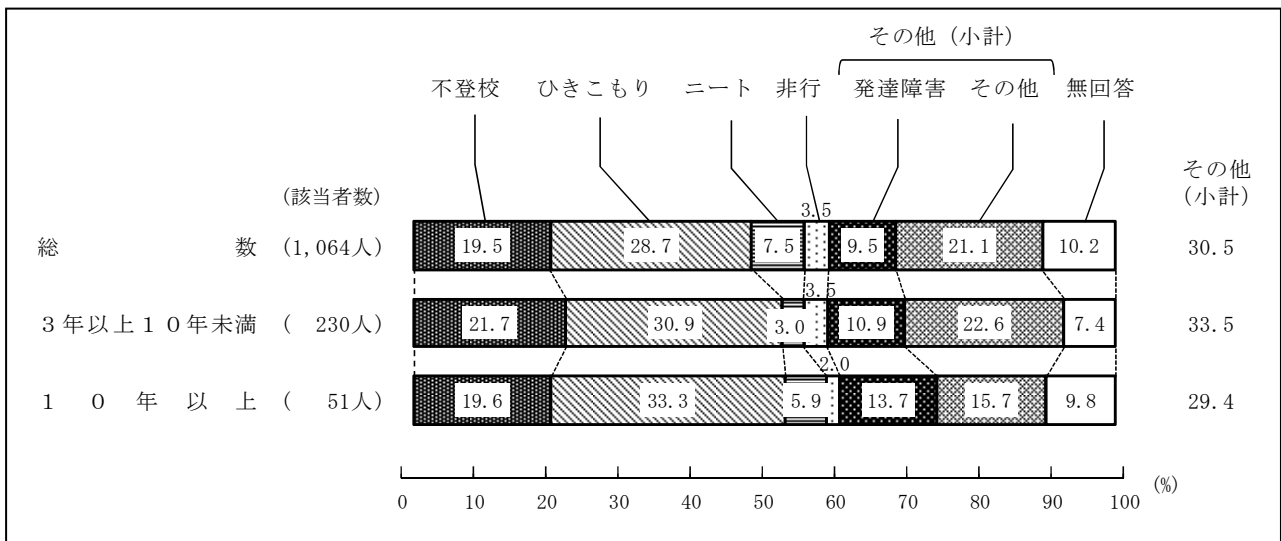
3(3) 子ども・若者の支援期間(支援上で最も大変だったケース)

(3)(1)で選択した「困難を有する子ども・若者」の支援はどのくらいの期間行いました(行っています)か。次のうちから、当てはまるもの1つに を付けてください。



支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」を、所属する法人が支援を行った期間について聞いたところ、『1年以上(「1年以上3年未満」+「3年以上10年未満」+「10年以上」)』が6割以上(63.1%)を占めている。また、「10年以上」にわたって支援をしているケースも4.8%となっている。

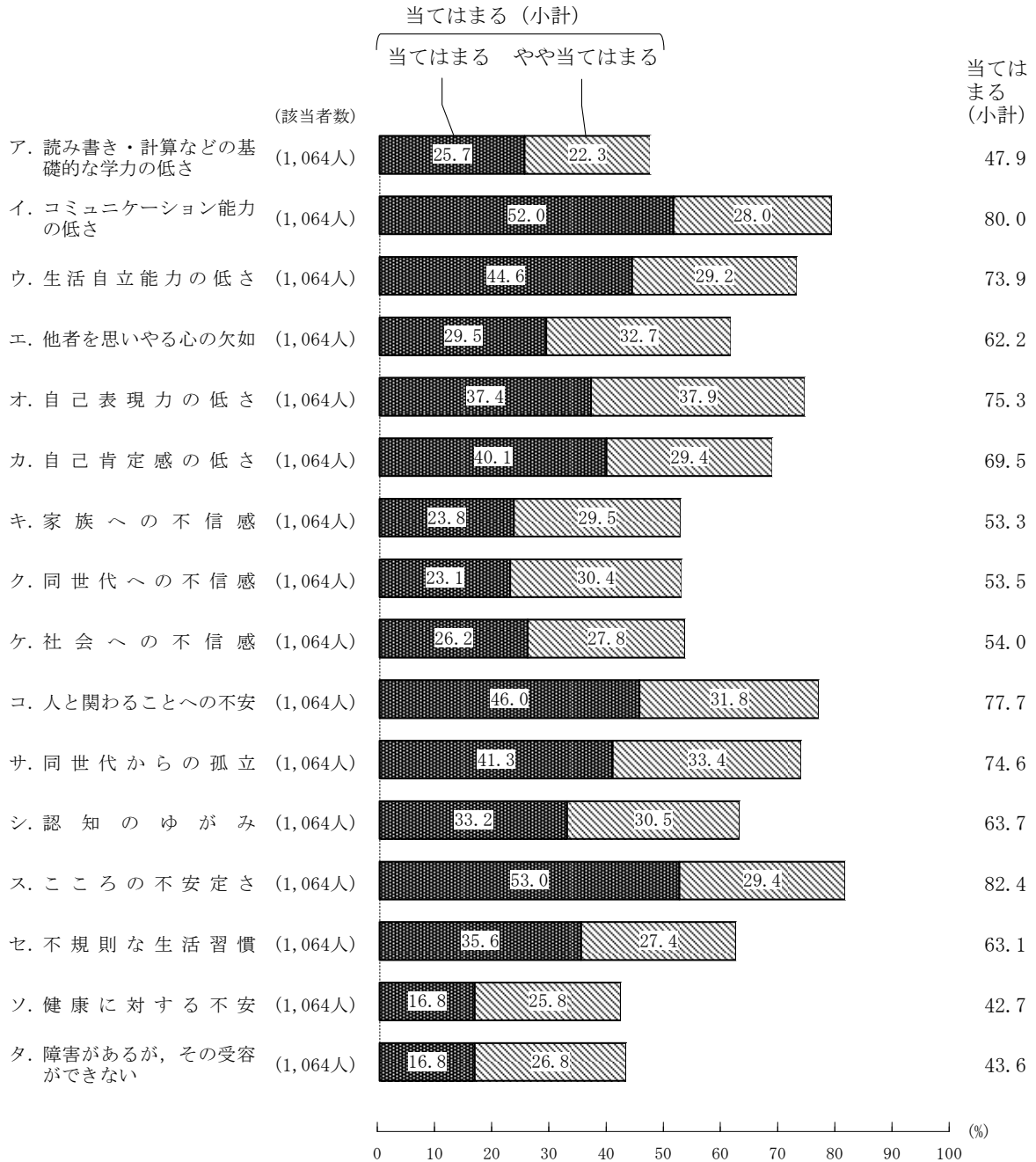
【参考】子ども・若者の支援期間(問3(3)選択肢5「3年以上10年未満」、選択肢6「10年以上」)別に見た子ども・若者の状況(問3(1))



「3年以上10年未満」及び「10年以上」支援をしている子ども・若者の状況を見ると、「ひきこもり」(「3年以上10年未満」30.9%、「10年以上」33.3%)、「不登校」(「3年以上10年未満」21.7%、「10年以上」19.6%)の順となっており、他の支援期間を含めた「総数」とも大きな傾向の差異は見受けられない。

3 (4) 子ども・若者本人が抱えていた問題 (支援上で最も大変だったケース)

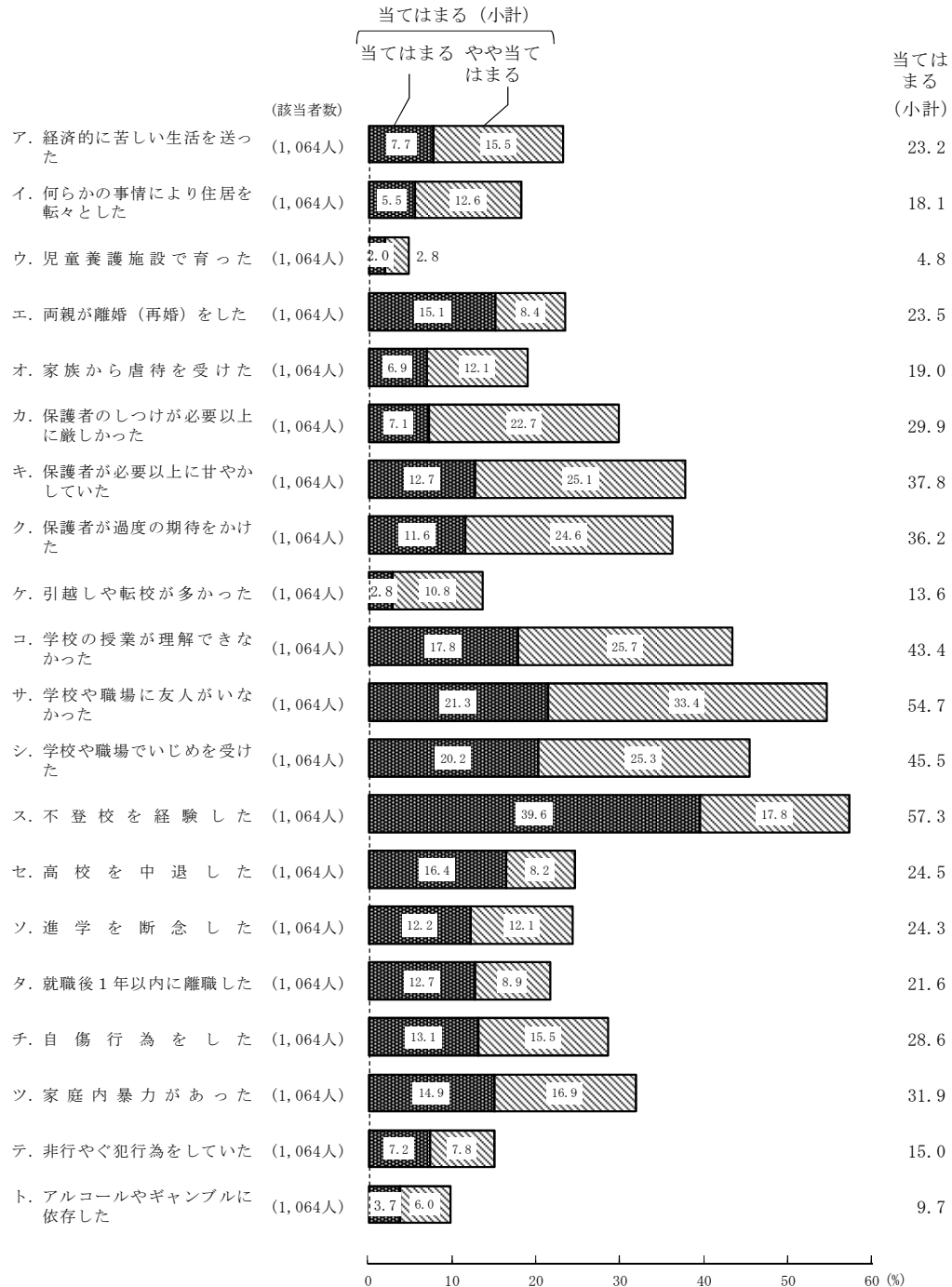
(4) あなたから見て ,(1) で選択した「困難を有する子ども・若者」本人はどのような問題を抱えていましたか。次のア～タそれぞれについて , 当てはまるもの 1つ に を付けてください。



支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」本人がどのような問題を抱えていたかについて聞いたところ、「こころの不安定さ」(82.4%)、「コミュニケーション能力の低さ」(80.0%)、「人と関わることへの不安」(77.7%)、「自己表現力の低さ」(75.3%)、「同世代からの孤立」(74.6%)の順で『当てはまる(「当てはまる」+「やや当てはまる」)』となっている。

3(5) 子ども・若者の生育上の経験(支援上で最も大変だったケース)

(5) あなたから見て,(1)で選択した「困難を有する子ども・若者」は生育上どのような経験をしていましたか。次のア～トのそれぞれについて、当てはまるもの1つに を付けてください。

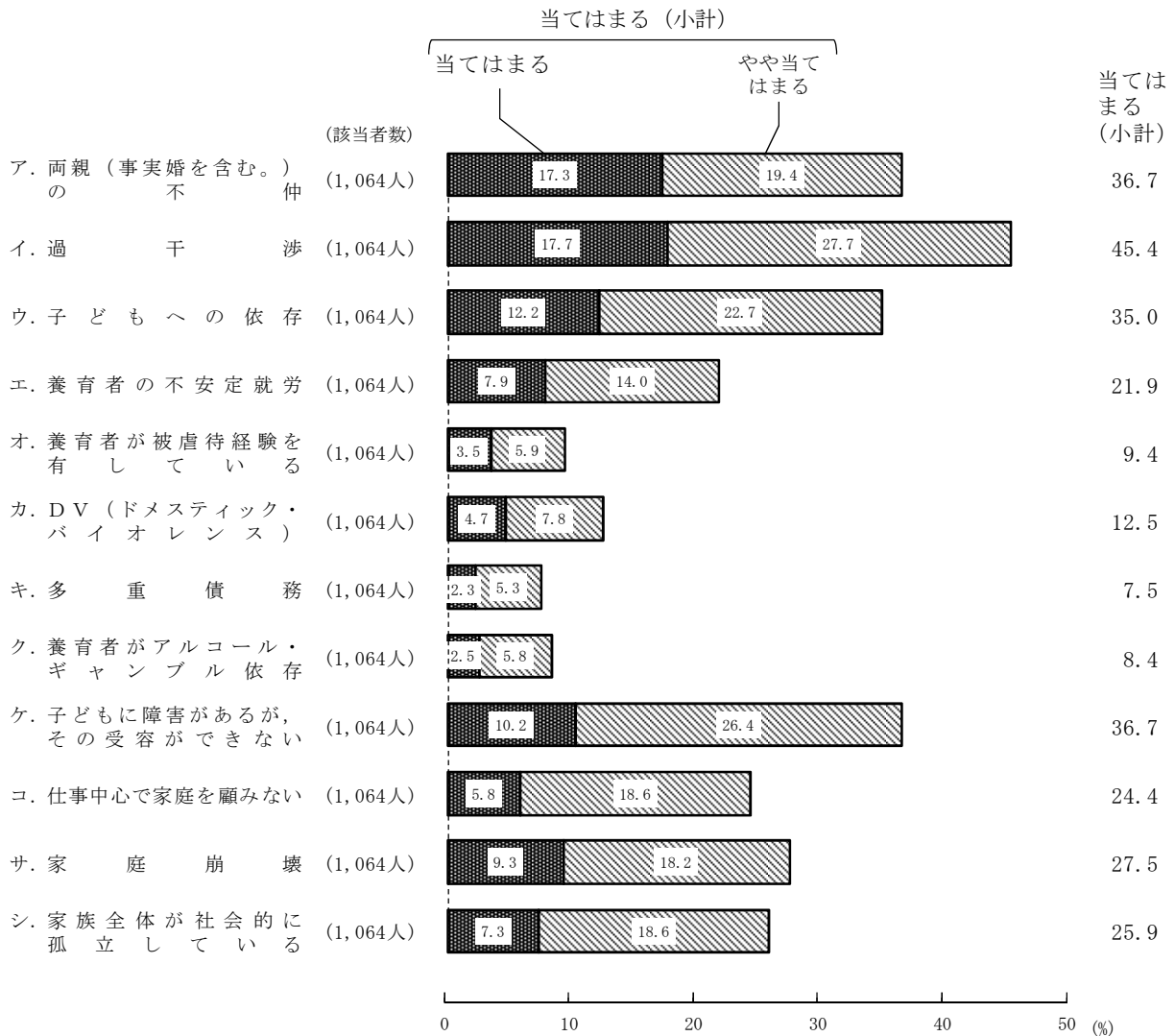


支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」が生育上経験したものについて聞いたところ、「不登校を経験した」(57.3%)、「学校や職場に友人がいなかった」(54.7%)、「学校や職場でいじめを受けた」(45.5%)、「学校の授業が理解できなかった」(43.4%)の順で『当てはまる(「当てはまる」+「やや当てはまる」)]』となっている。

3(6) 子ども・若者の家族が抱えていた問題(支援上で最も大変だったケース)

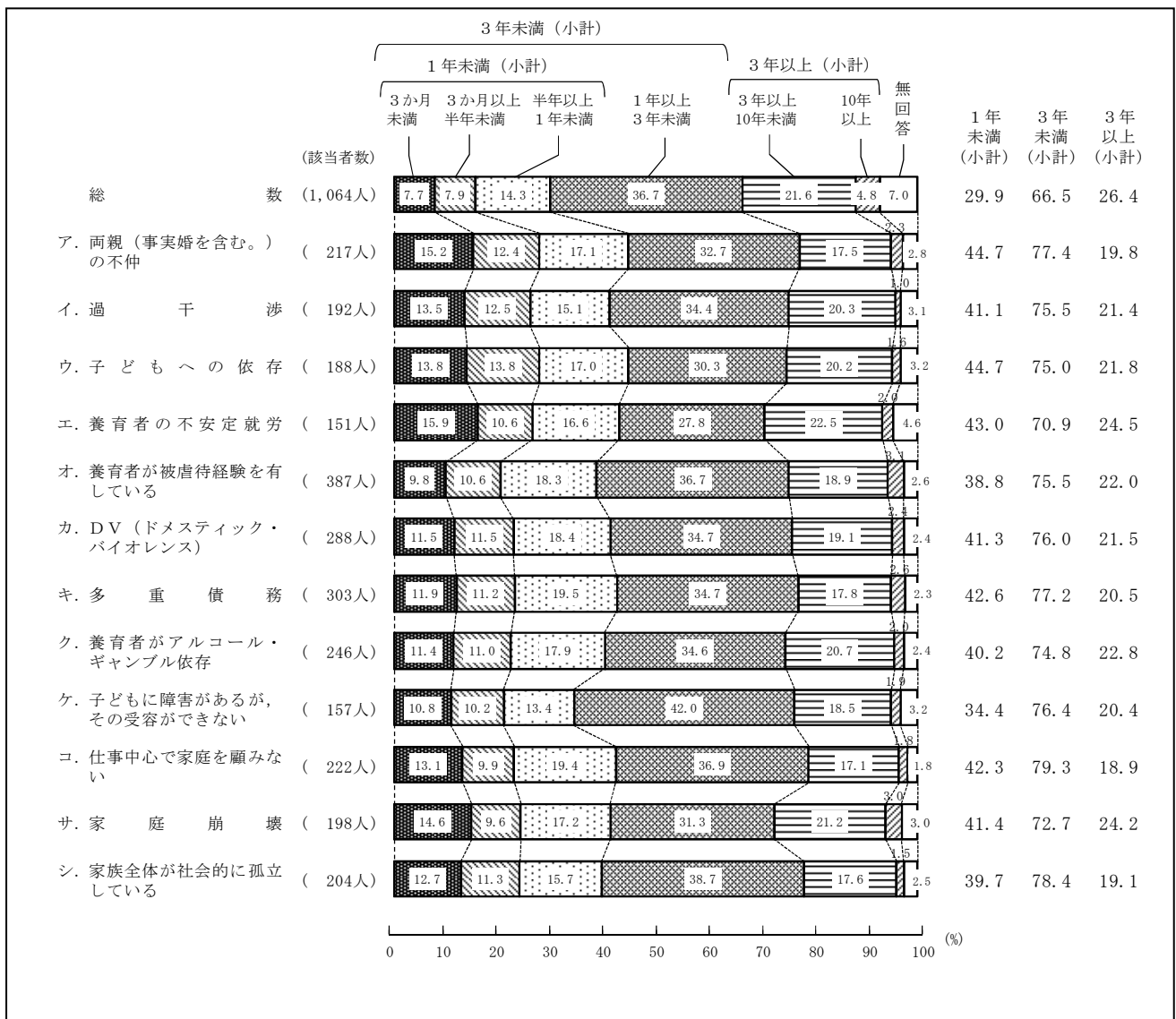
問3 困難を有する子ども・若者に対しての支援実践上の課題について、支援をする上で最も大変だったと感じたケース(支援対象者本人の抱えている困難の度合いが一番大きかったもの。現在支援をしているケースを含む。)を1つ思い浮かべた上で、次の(1)~(6)についてお答えください。

(6) あなたから見て、(1)で選択した「困難を有する子ども・若者」の家族はどのような問題を抱えていましたか。次のア~シそれぞれについて、当てはまるもの1つに付けてください。



支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」の家族が抱えていた問題について聞いたところ、「過干渉」(45.4%)、「両親(事実婚を含む。)の不仲」(36.7%)、「子どもに障害があるが、その受容ができない」(36.7%)、「子どもへの依存」(35.0%)の順で『当てはまる(「当てはまる」+「やや当てはまる」)』となっている。

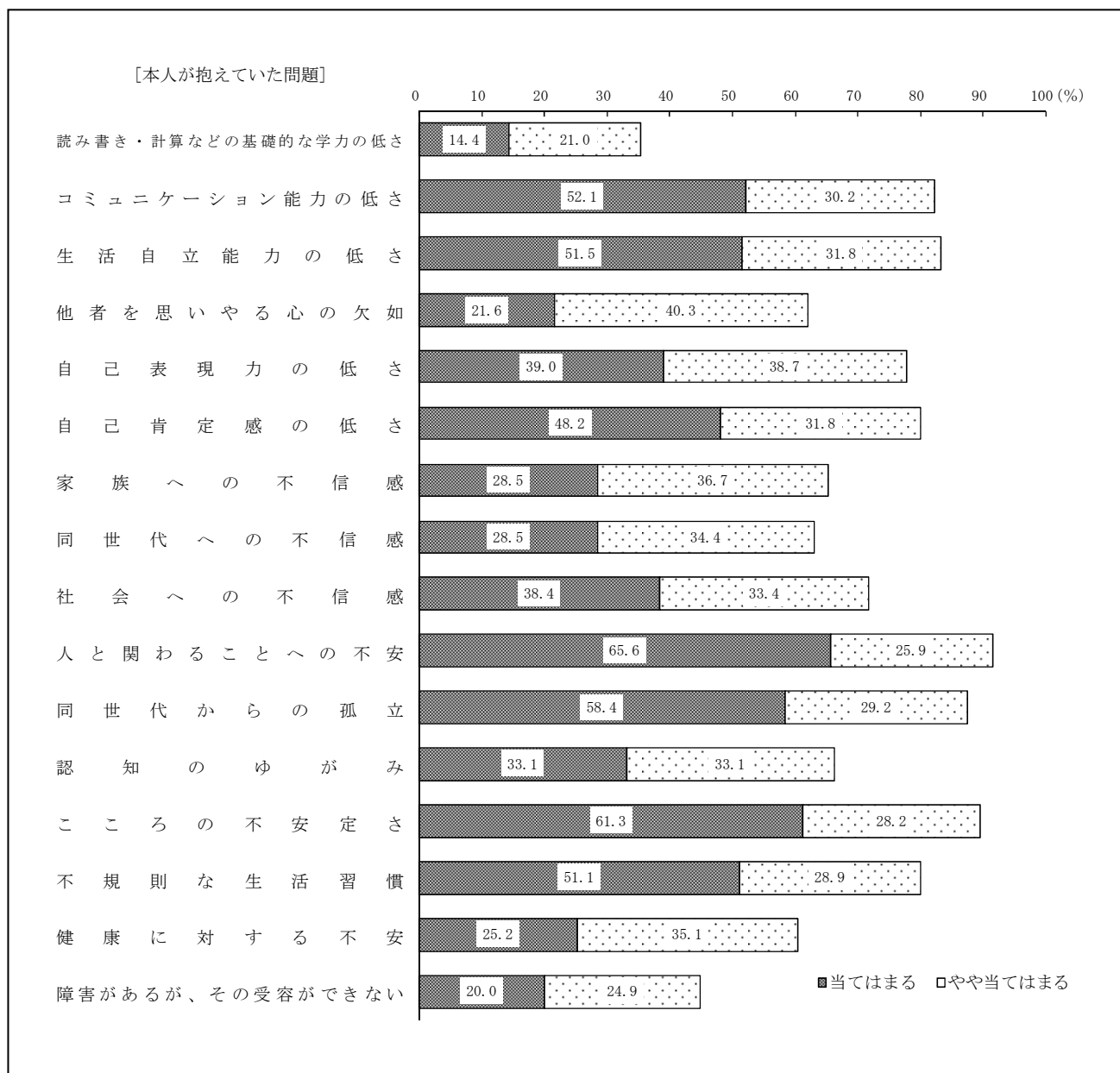
【参考】子ども・若者の家族が抱えていた問題（問3（6）「よくわからない」）別に見た子ども・若者の支援期間（問3（3））



問3（6）のア～シまでの各項目の問題を家族が抱えていたかどうかについて「よくわからない」と回答した者について見ると、支援をした期間が『3年未満（「3か月未満」＋「3か月以上半年未満」＋「半年以上1年未満」＋「1年以上3年未満」）』である者が全項目で7割を超えており、うち半数程度は『1年未満（「3か月未満」＋「3か月以上半年未満」＋「半年以上1年未満」）』となっている。

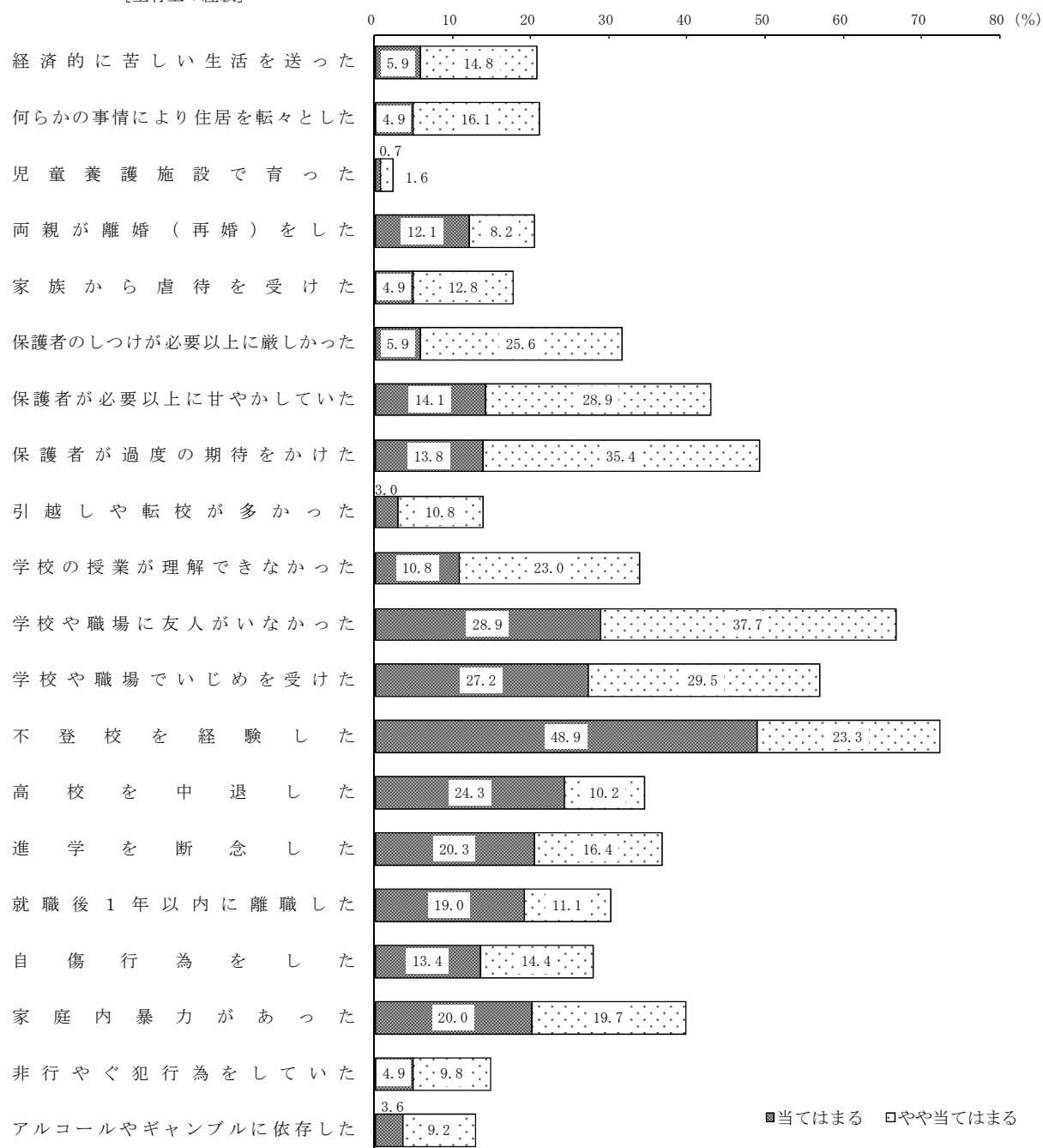
【参考】子ども・若者の状況（問3（1））別に見た本人や家族が抱えていた問題（問3（4）～（6））
 支援をする上で最も大変だったと感じたケースの「困難を有する子ども・若者」の状況別に見た本人や家族が抱えていた問題や生育上の経験を見ると、次グラフのようになっている（66頁から80頁まで）。

ひきこもり（n=305）

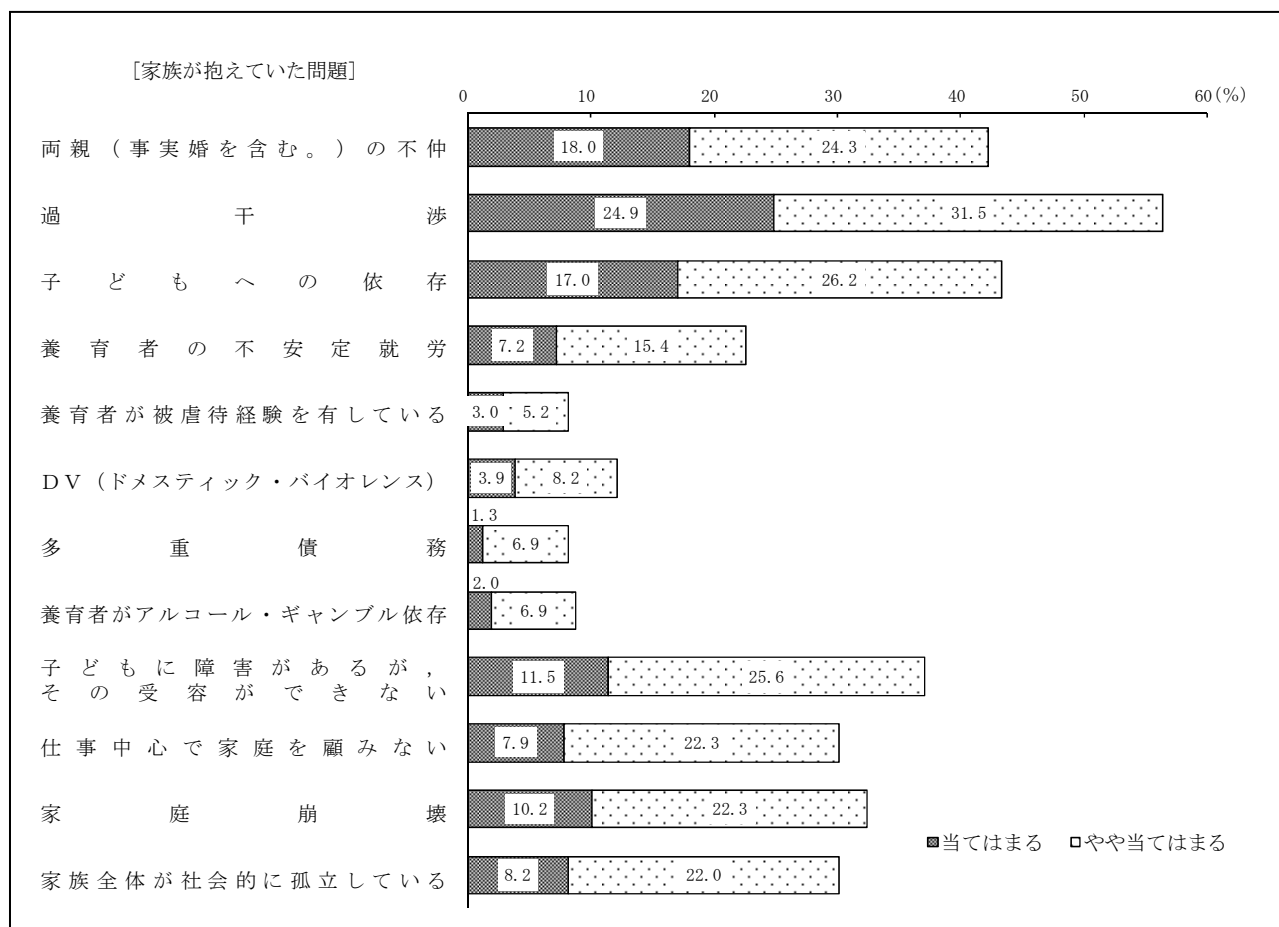


ひきこもり (n=305)

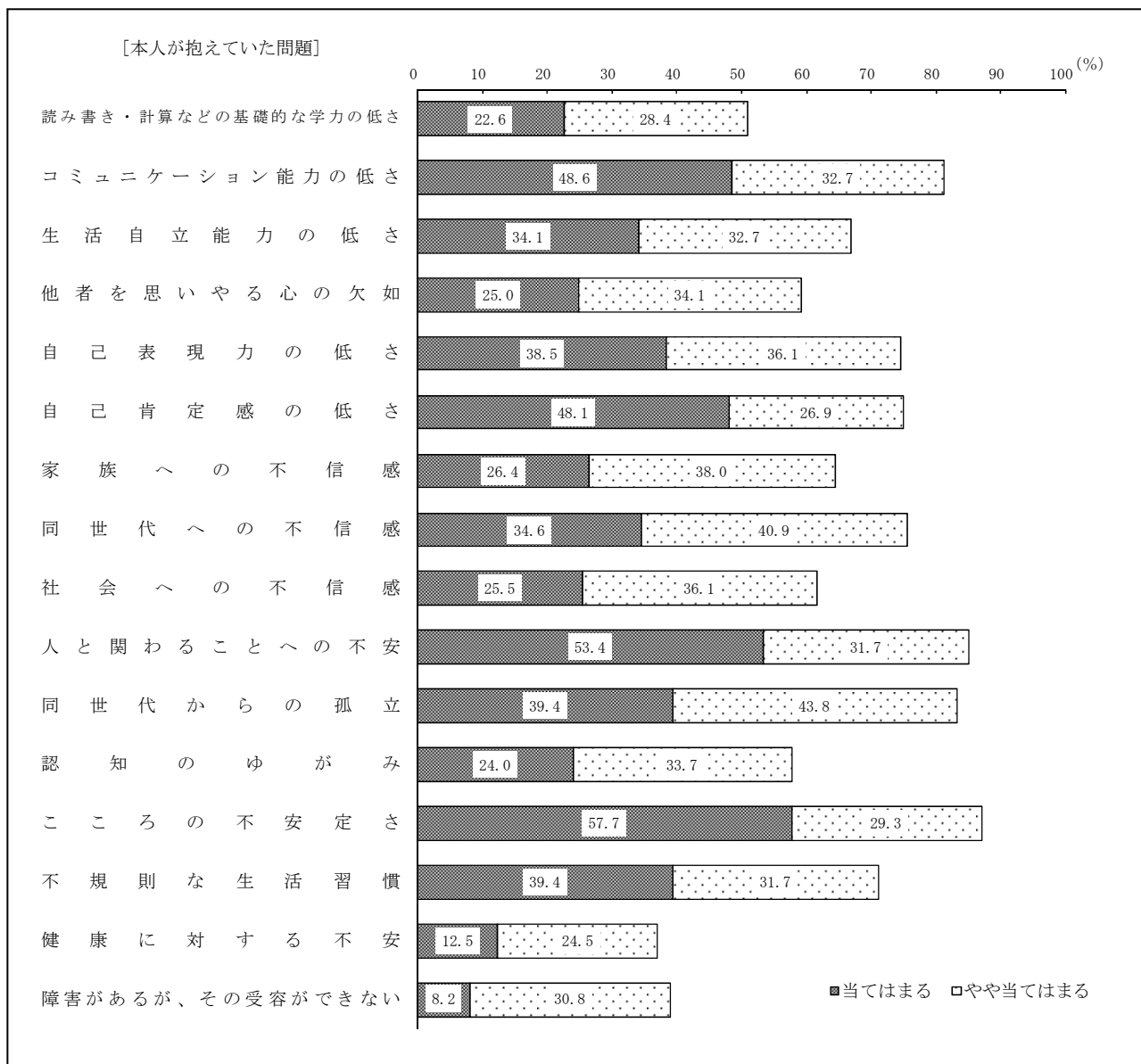
[生育上の経験]



ひきこもり (n=305)

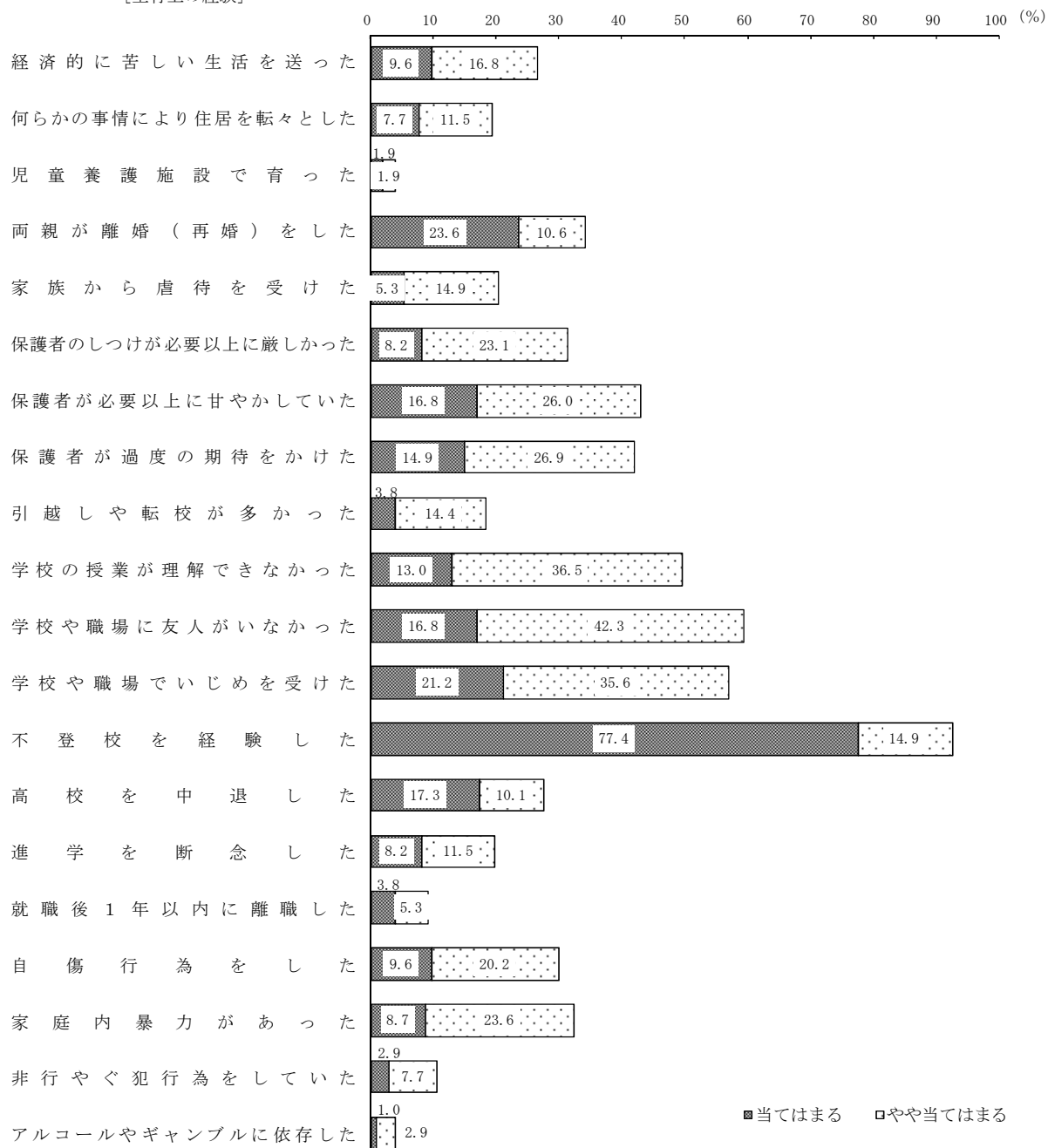


不登校 (n=208)

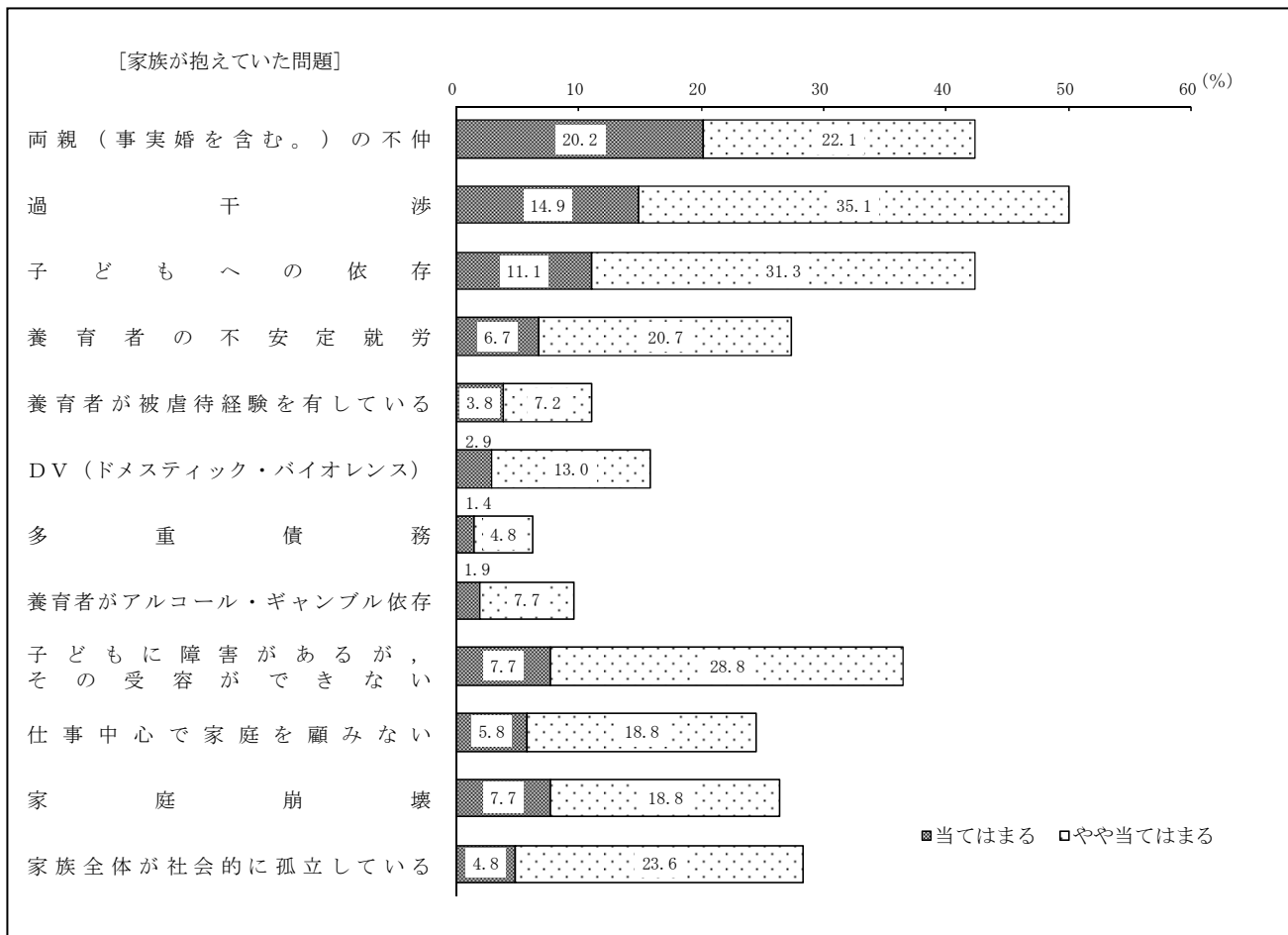


不登校 (n=208)

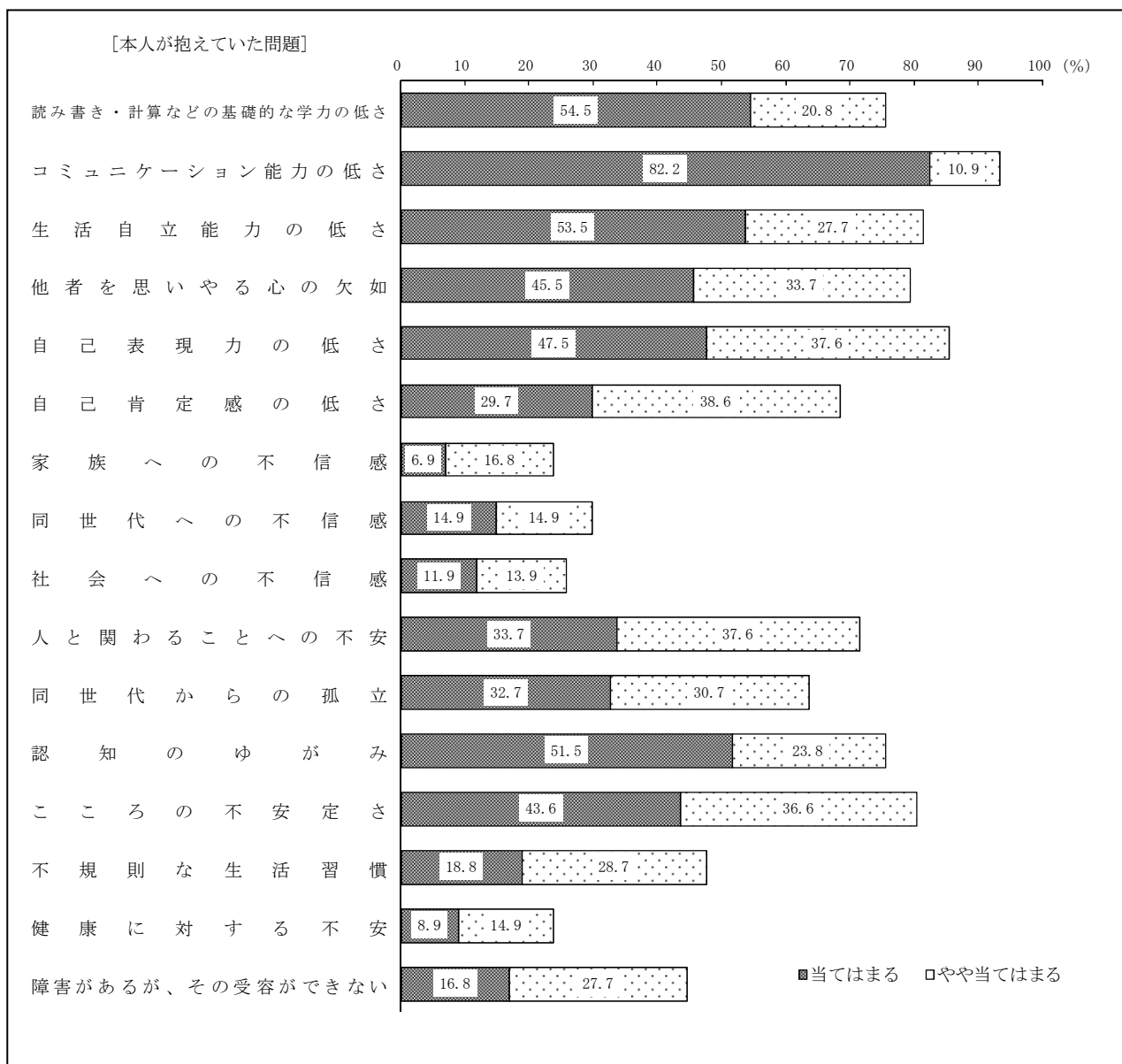
[生育上の経験]



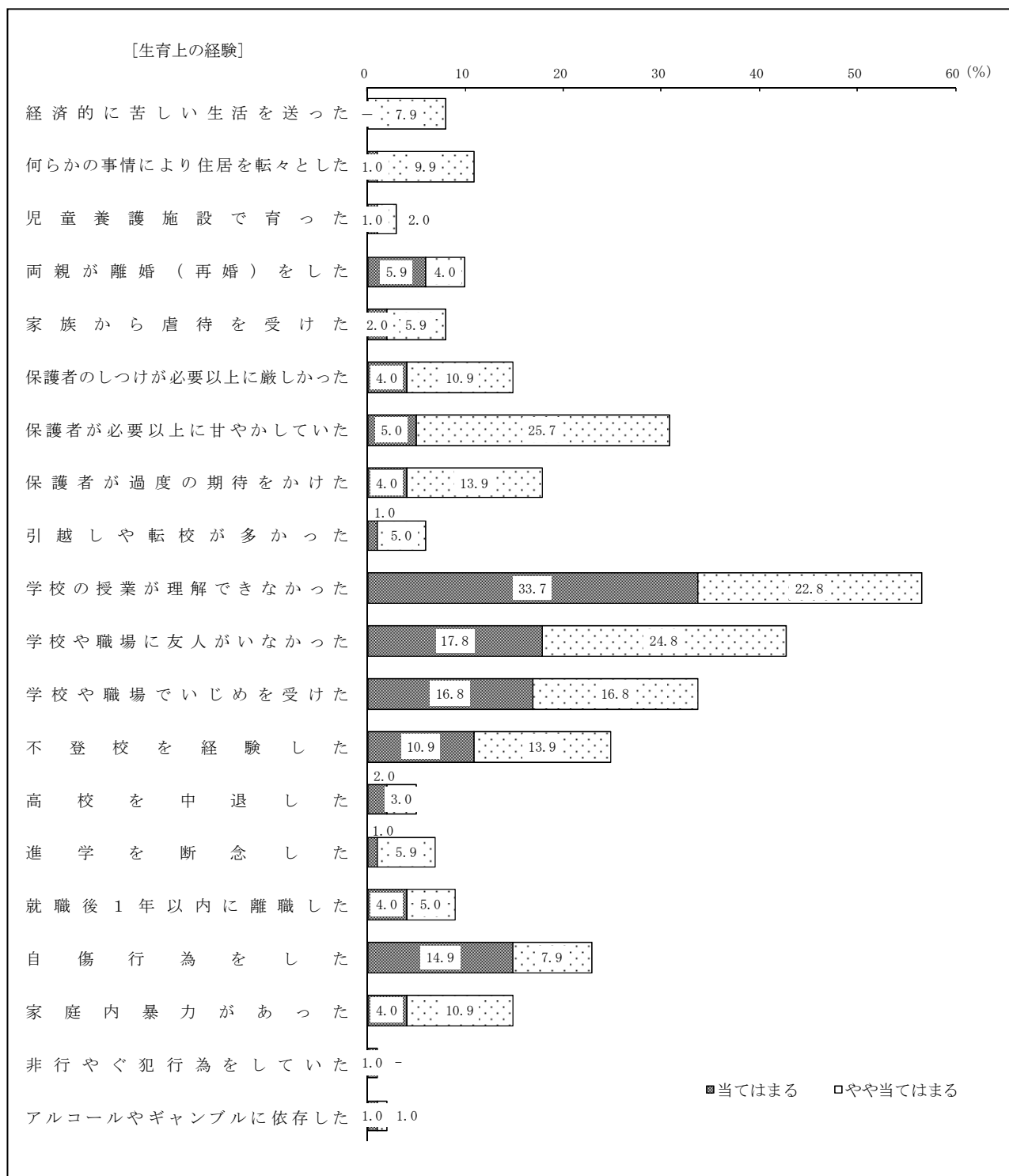
不登校 (n=208)



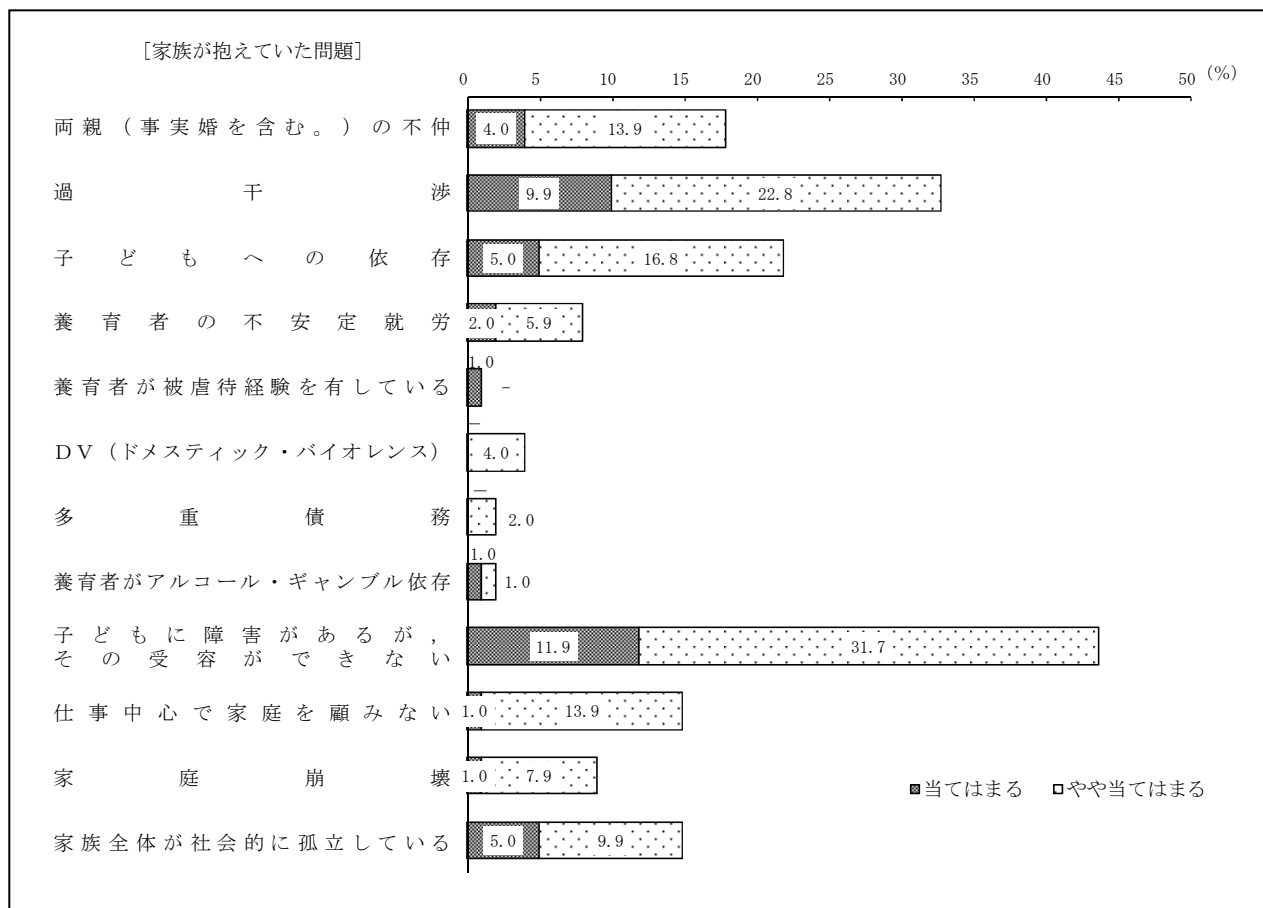
その他（発達障害）(n=101)



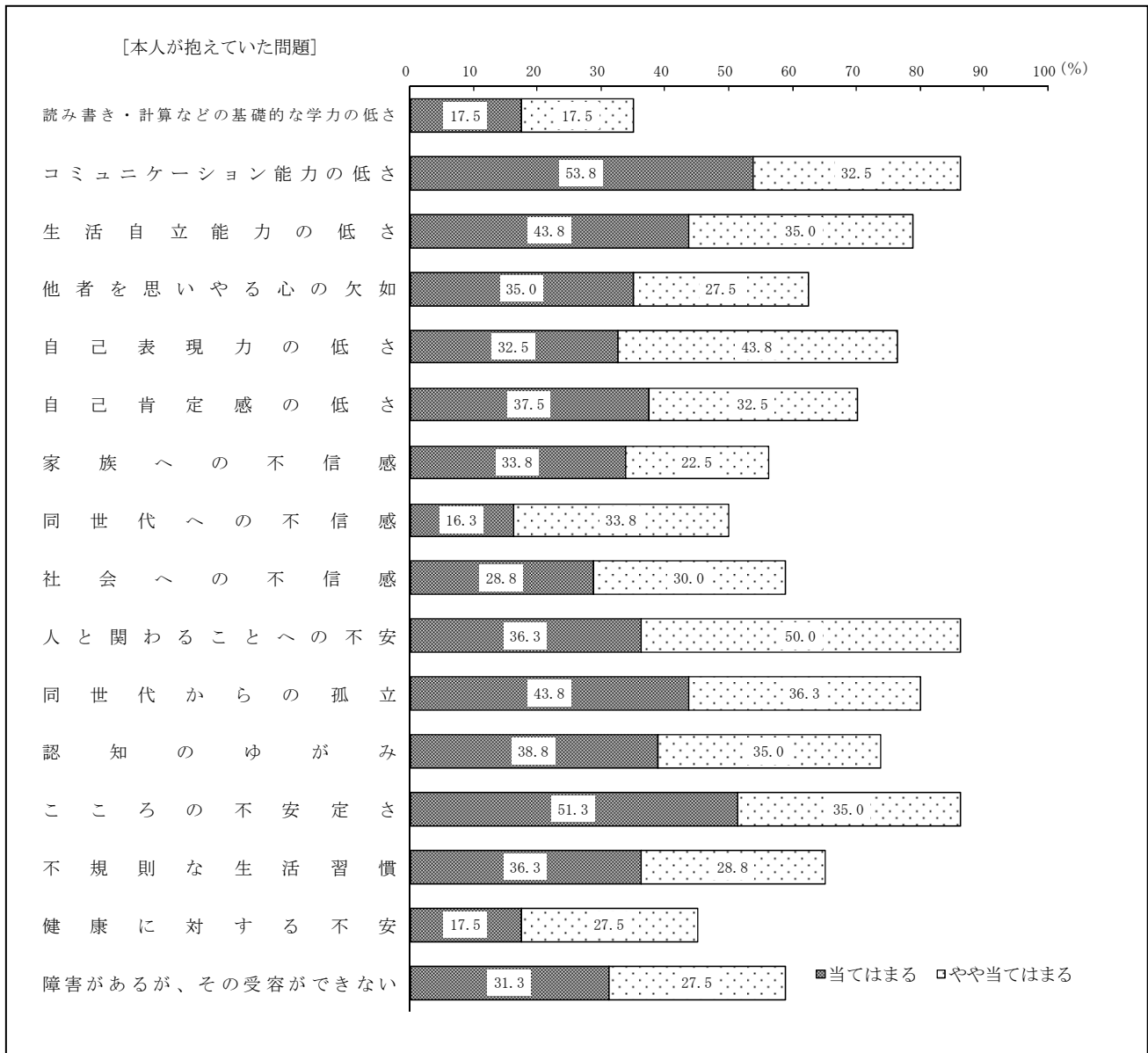
その他（発達障害）(n=101)



その他（発達障害）(n=101)

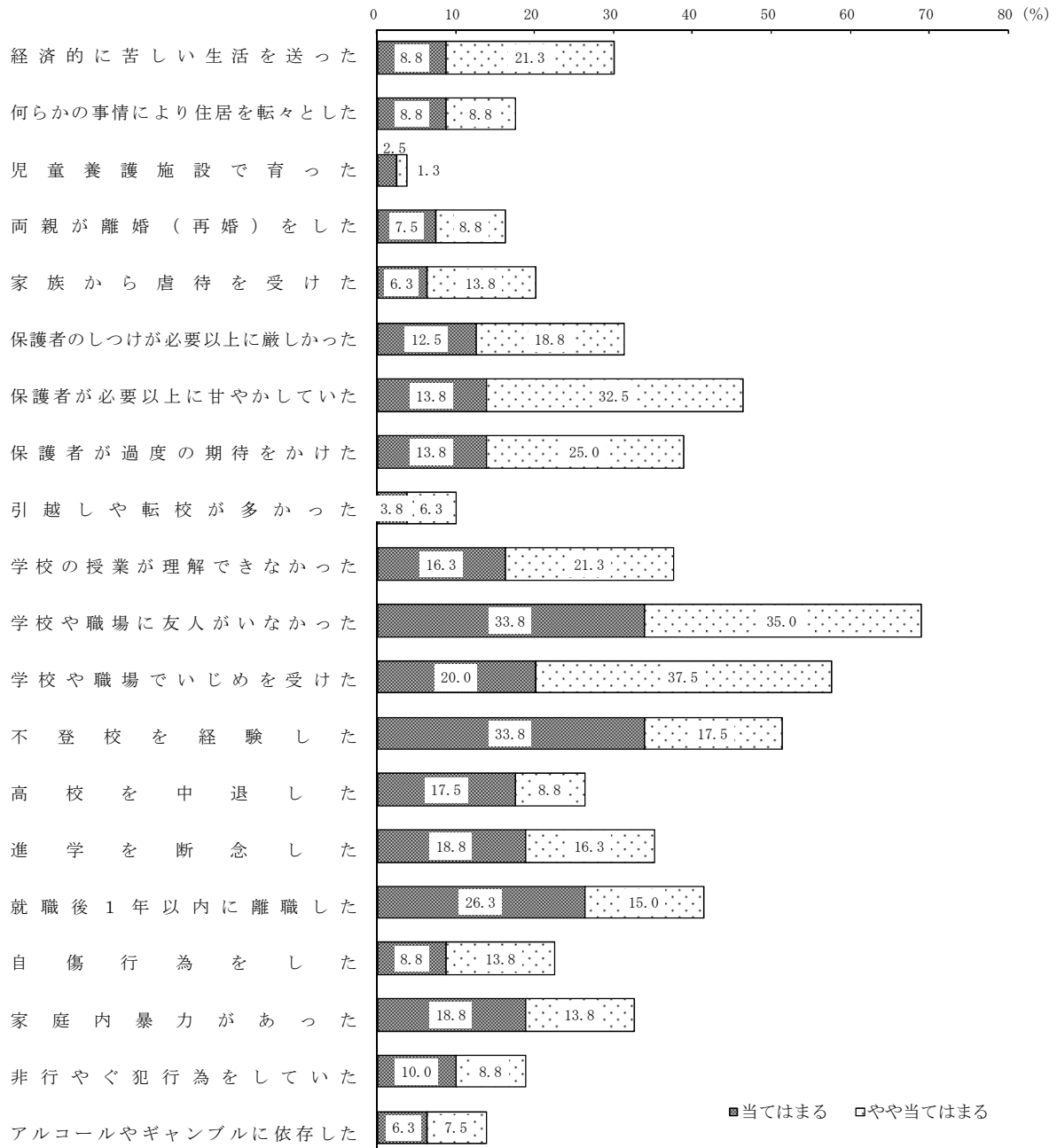


ニート (n=80)

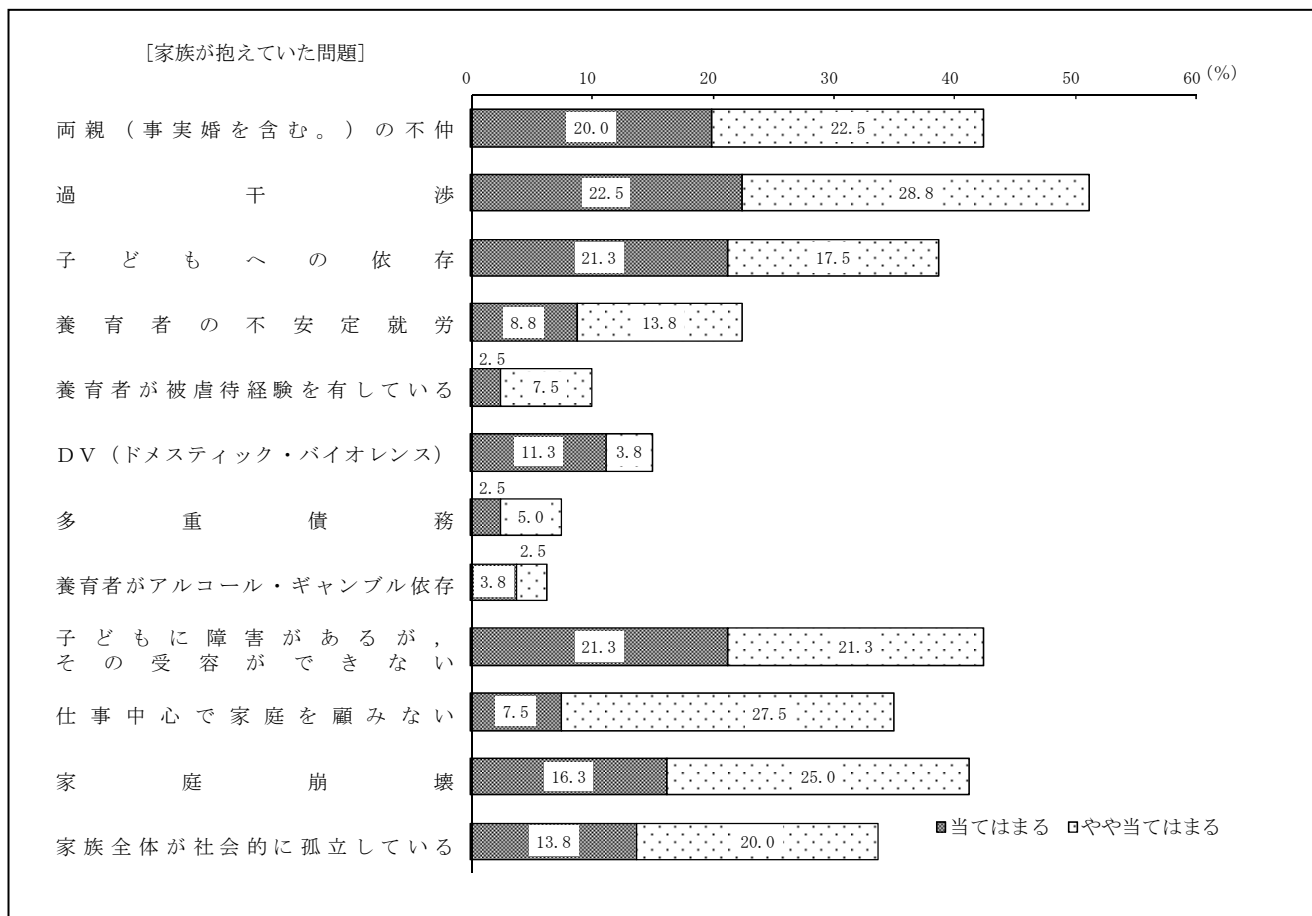


ニート (n=80)

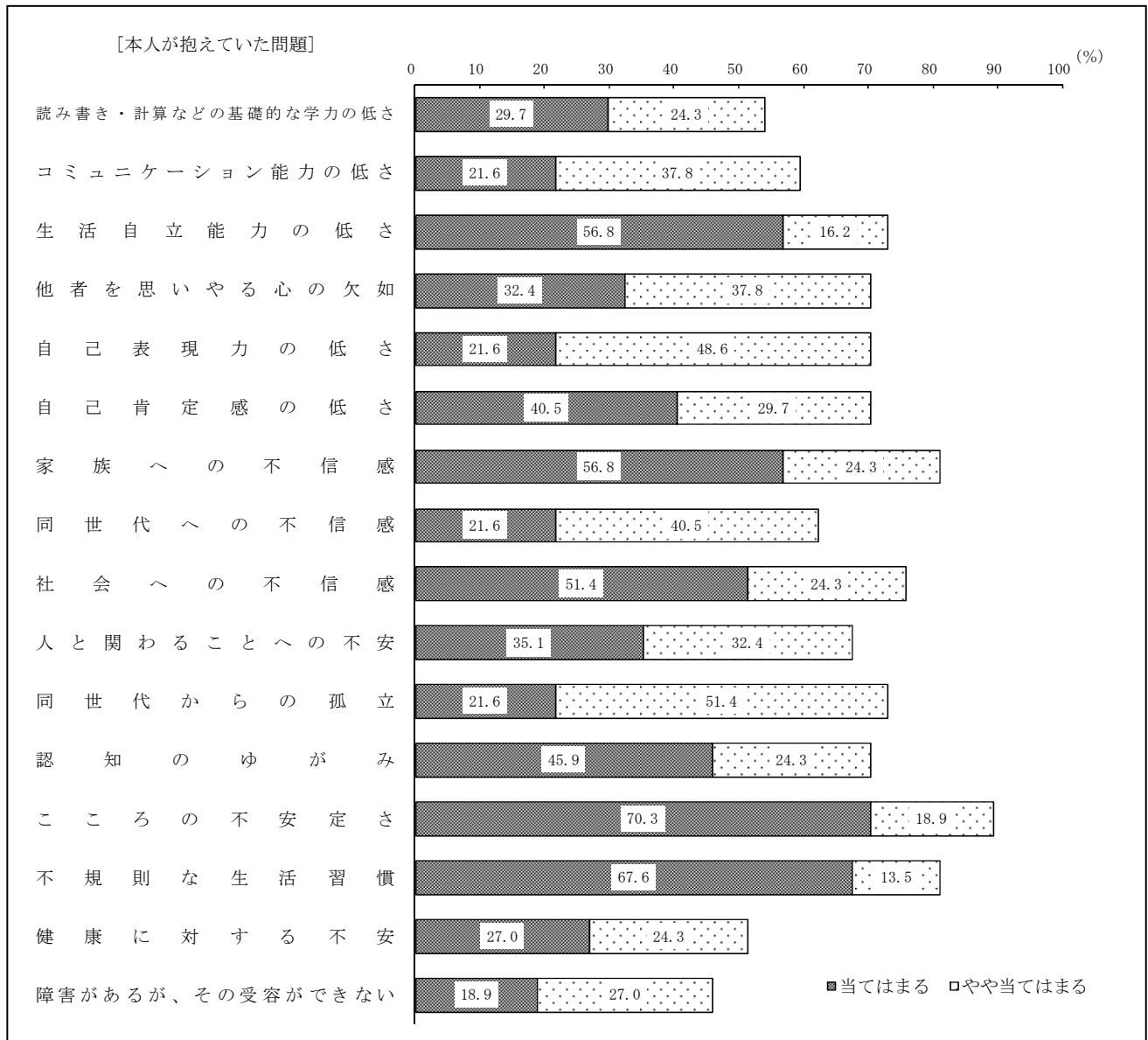
[生育上の経験]



ニート (n=80)

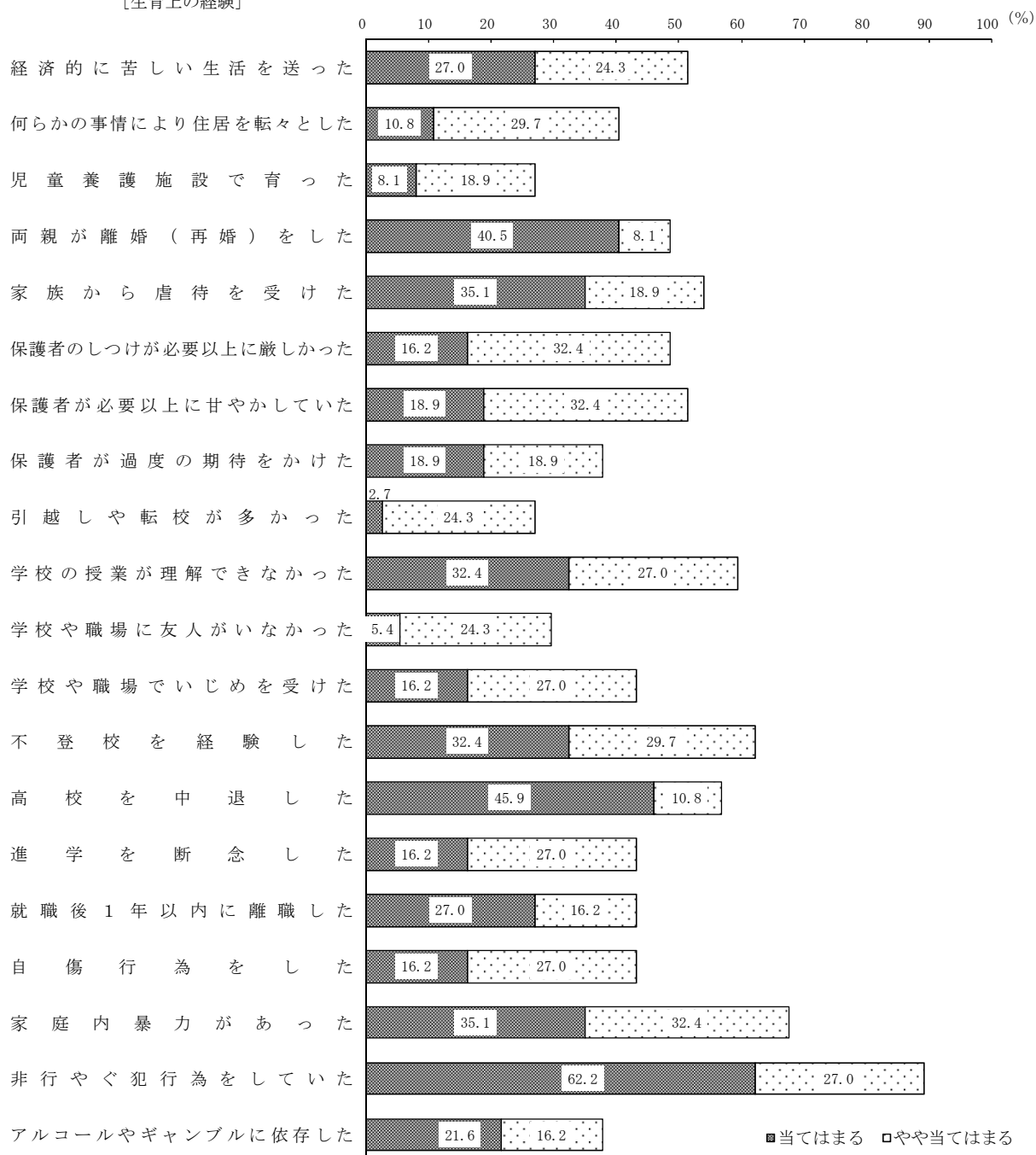


非行 (n=37)



非行 (n=37)

[生育上の経験]



非行 (n=37)

